



図書館から

新しい本が入りました

歓喜の仔 上下

天童 荒太／著

小説

愛も夢も奪われた。残されたものは、生きのびる意志だけだった…。



北の農業改良普及員

北農 道東／著

一般書

戦後の東北北海道農政に酪農畜産を普及させるため、農業改良普及員として尽力し続けた人々の『現実』をつづる。



まるごと日本の道具

面矢 慎介／作

児童書

日本の道具が、まるごとわかります。用途別に約1000種類の道具を紹介。使い方や歴史もわかります。



「よいしょ、よいしょ」楽しいな

保育園、幼稚園でもちつき

「よいしょ、よいしょ」—子どもたちがけんめいにもちをつき、かわいいかけ声が響きました。

もちつきは、訓子府幼稚園が昨年12月6日(表紙写真)、くんねっぷ保育園が12月7日にそれぞれ行われました。

父母や商工会青年部、先生などが手伝う中で、子どもたちは「ペタン、ペタン」と小さなきねを使ってもちつきをし、きなこもちや雑煮などにして、おいしそうに食べていました。



くんねっぷ保育園



訓子府幼稚園



歓声響いた 老人クラブ輪投げ大会

町老人クラブ連合会主催の輪投げ大会が昨年11月16日、町スポーツセンターで開かれ、各地域の老人クラブから130人が参加しました。参加者は、4m先の的をめがけて、10本の輪を1本ずつ投げて、得点を競いました。的に立っている棒にきれいに輪がかかると、会場内から歓声が沸いていました。

復活シン飲料「紫式部」が誕生

喫茶たんぽぽで販売



復活シン飲料「紫式部」製品発表会が、昨年11月22日に公民館で開かれました。シン飲料は以前、町内の「加工グループみさと」のメンバーがシンジュース「紫式部」として製造、販売していましたが、メンバーの高齢化などで製造を中止していました。昨年、障がい者の自立支援と就労の場創出を目的としているNPO法人福祉サポートきらきら本舗が、新たな事業としてシン飲料を復活させました。法人理事長の後藤武男さんの畑で赤シソを栽培、さまざまな種類の酢を活用して、シン飲料の試作を続け、最終的に穀物酢の「フレッシュユ」、りんご酢の「マイルド」、米酢の「プレミアム」の3種類の飲料を完成させ、発表にこぎつけました。発表会には、きらきら本舗のメンバーをはじめ、製造にもかかわった「みさと」の女性、町関係者ら約60人が出席しました。きらきら本舗のメンバーが「除幕」し、紫式部を披露、出席者が地元特産品で調理された料理と一緒に試飲しました。紫式部は、役場庁舎内の喫茶「たんぽぽ」で500ml1本1000円で今後販売される予定です。

まちのわだい

遊戯や歌など、かわいい演技を披露

くんねっぷ保育園のゆうぎ会が昨年12月1日に公民館で開かれ、1歳から3歳までの園児72人がかわいい演技を披露しました。

次々に舞台上に登場した園児は、遊戯や歌、器楽、オペレッタを一生懸命に発表、笑顔を振りまいていました。

会場には父母をはじめ、祖父母などが大勢詰めかけ、園児たちのかわいい動きや歌声に大きな拍手を送っていました。



くんねっぷ保育園のゆうぎ会